

数学

(100 分)

1. 数学の問題は I, II, III, IV, V の 5 問よりなっている。
2. 第一群を選択する者は I, II, III, IV の 4 問を、第二群を選択する者は I, II, III, V の 4 問を解答すること。各群の問題は以下のようになっている。

第一群	第二群
数学 I, 数学 II	数学 I, 数学 II, 数学 III
数学 A, 数学 B	数学 A, 数学 B, 数学 C

第一群・第二群共通問題

I 次の の中を適当に補って、それを答案用紙に書け。証明や説明を書かないこと。(60 点)

(1) 実数 x, y が $2x + y = \sqrt{2013}$ を満たすとき、 xy の最大値を求めると (a)。

(2) $\sum_{k=0}^n \frac{1}{\sqrt{k} + \sqrt{k+1}} = \boxed{(b)}$.

(3) $0 \leq x \leq \frac{\pi}{2}$ のとき、関数 $y = \sin^3 x + \cos^3 x$ の最大値 M と最小値 m を $t = \sin x + \cos x$ とおいて求めると $(M, m) = \boxed{(c)}$.

II 三角関数の加法定理を用いると、

$$\begin{aligned}\cos 2\theta &= 2 \cos^2 \theta - 1, \quad \sin 2\theta = 2 \sin \theta \cos \theta \\ \cos 3\theta &= 4 \cos^3 \theta - 3 \cos \theta, \quad \sin 3\theta = 3 \sin \theta - 4 \sin^3 \theta\end{aligned}$$

を導くことができる。このとき、次の問い合わせよ。(40 点)

(1) 加法定理と上の公式を利用して、 $\cos 5\theta = 16\cos^5 \theta - 20\cos^3 \theta + 5\cos \theta$ を導け。

(2) $x = \cos \frac{2\pi}{5}$ とおくと、(1)より $16x^5 - 20x^3 + 5x - 1 = 0$ となる。

この左辺を因数分解すると $(x - 1)(ax^2 + bx + c)^2$ となる。整数 a, b, c を求めよ。

ただし、 $a > 0$ とする。

(3) $\cos \frac{2\pi}{5}$ の値を求めよ。

III 次の の中を適当に補って、それを答案用紙に書け。証明や説明を書かないこと。

(60 点)

(1) 2 つ の ベクトル $\vec{a} = (-1, 2), \vec{b} = (x, 1)$ について、 $2\vec{a} - 3\vec{b}$ と $\vec{a} + 2\vec{b}$

が垂直になるように、実数 x を定めると $x =$ (ア)

(2) 青玉 10 個、黄玉 10 個、黒玉 10 個、緑玉 10 個、赤玉 10 個の合計 50 個が入った壺がある。最初に 1 個取り出して、見ずに箱にしまっておく。その後、壺から 1 個ずつ玉を戻さずに 3 回取り出したら、3 個とも赤玉であった。箱にしまっておいた玉が赤玉である確率は (イ)

(3) 曲線 $y = -x(x - 2)$ と x で囲まれた面積を、直線 $y = (-a + 2)x$ が 2 等分するとき、

定数 a を求めると $a =$ (ウ)

選択問題

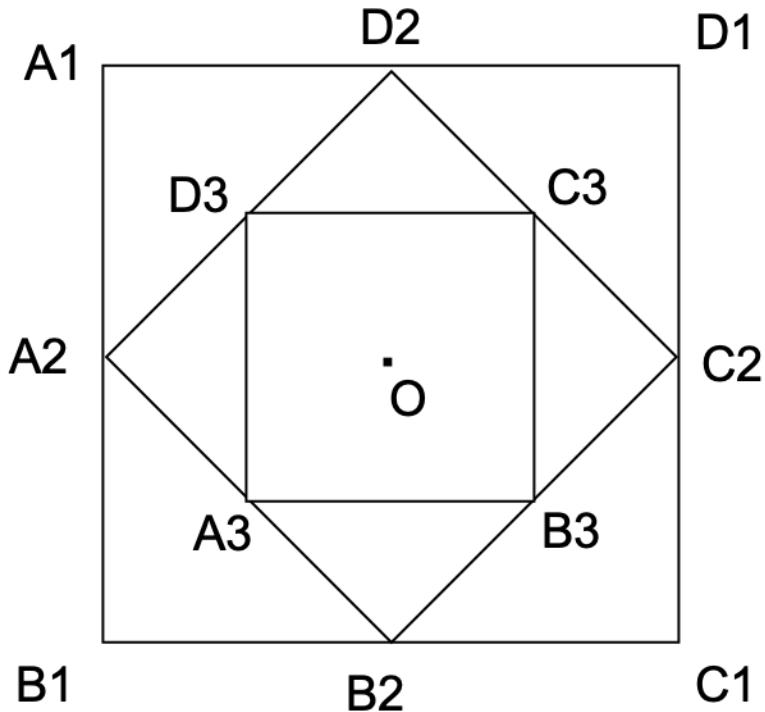
第一群

IV 正方形 $A_1B_1C_1D_1$ が下図のように与えられている。正方形 $A_2B_2C_2D_2$ 、正方形 $A_3B_3C_3D_3$ 、…

、正方形 $A_nB_nC_nD_n$ 、正方形 $A_{n+1}B_{n+1}C_{n+1}D_{n+1}$ 、…を順に考える。ただし、 $A_{n+1}, B_{n+1}, C_{n+1}, D_{n+1}$ はそれぞれ順に、 $A_nB_n, B_nC_n, C_nD_n, D_nA_n$ の中点。 O は A_1C_1 の中点である。

正方形 $A_nB_nC_nD_n$ の面積を S_n とする。その時、 $\frac{S_n}{S_1}$ が初めて $\frac{1}{100}$ 以下となる n

の値とその時の $\angle A_1 O A_n$ を求めよ. $\log_{10} 2 = 0.301$ とする. (40 点)



第二群

V 双曲線 $y = \frac{1}{x} + \frac{4}{3}$ を C_1 , 曲線 $y = -\frac{1}{3}x^3 + a$ を C_2 , C_2

と x 軸の交点を通る y 軸と平行な直線を L とする. ただし a は実数とする. このとき,

次の問いに答えよ.(40 点)

(1) C_1 と C_2 が第一象限で接するとき, a の値を求めよ.

(2) (1)で求めた a に対して, C_1 と C_2 と L で囲まれた部分の面積を求めよ.